

千葉市
デートDVについての意識・実態
アンケート調査
調査結果報告書

令和4年2月

千葉市

目次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
7	比較を行った調査の概要と設問.....	2
II	調査結果.....	3
III	調査結果のまとめ・課題.....	17
IV	自由意見.....	19
V	調査票・調査依頼文.....	20

I 調査の概要

1 調査の目的

平成28年に策定した「第2次千葉県DV防止・被害者支援基本計画」が令和3年度で終了することに伴い、若者のデートDVについての意識や経験、暴力の考え方等の実態を把握し、次期計画におけるデートDVを未然に防ぐための普及啓発や若者からのDV相談体制の充実についての具体的施策を検討する際の基礎資料とすることを目的として実施した。

2 調査対象

千葉市立高校（2校）の1年生から3年生

3 調査期間

令和3年11月15日から令和3年12月3日まで

4 調査方法

インターネットによる回答

（対象の学校へ生徒本人向け、保護者向けの調査概要を郵送し、学校を通じて、生徒本人へ調査回答フォームの二次元コードを記載した調査概要を配布。Web上で回答、回収を実施。一部Web回答ができない生徒向けに紙回答用紙を配付し、回収。）

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
1899件	844件	44.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してある。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。

7 比較を行った調査の概要と設問

(1) 「デートDVに関する大学生意識等調査」

- ①調査企画 千葉県健康福祉部児童家庭課
- ②調査対象 千葉県内の大学に在籍する学生
- ③調査方法 インターネット調査
- ④調査期間 令和2年10～12月
- ⑤回収数 1,315件

なお、本報告書では「令和2年度千葉県調査」と表記している。

(2) 「交際相手からの暴力（デートDV）についての意識実態アンケート調査」

- ①調査企画 千葉市こども家庭支援課
- ②調査対象 千葉市立高校（2校）に在籍する生徒
- ③調査方法 学校で調査票及び封筒を配布し、教室にて回収
- ⑤調査期間 平成26年9～12月
- ⑥回収数 1,775件

なお、本報告書では「平成26年度千葉市高校生調査」と表記している。

(3) 「配偶者等における暴力に関する調査」

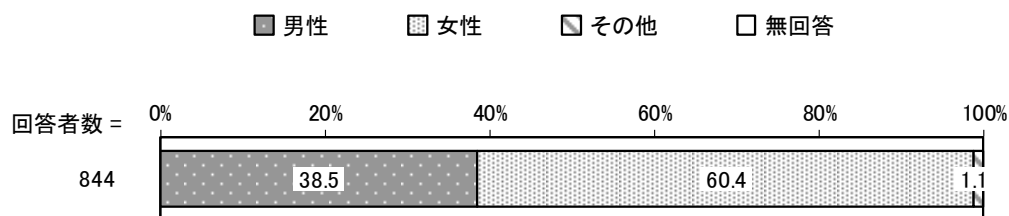
- ①調査企画 千葉市男女共同参画センター
- ②調査対象 千葉市在住の20歳以上の3,000人（男女1,500人）
- ③調査方法 郵送配布-郵送回収法
- ⑤調査期間 令和2年8月
- ⑥回収数 1,004件

なお、本報告書では「令和2年度千葉市配偶者等暴力調査」と表記している。

II 調査結果

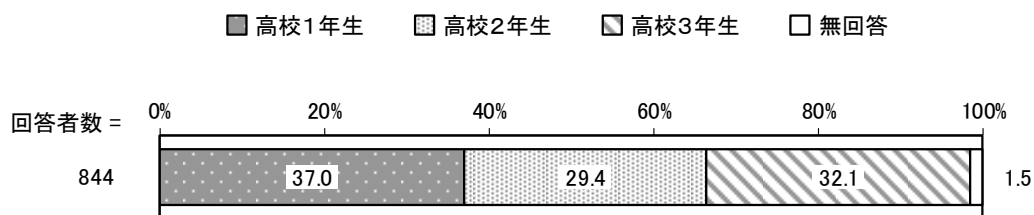
問1 あなたの性別は次のうちどれですか。(○は1つ)

「男性」の割合が38.5%、「女性」の割合が60.4%となっている。



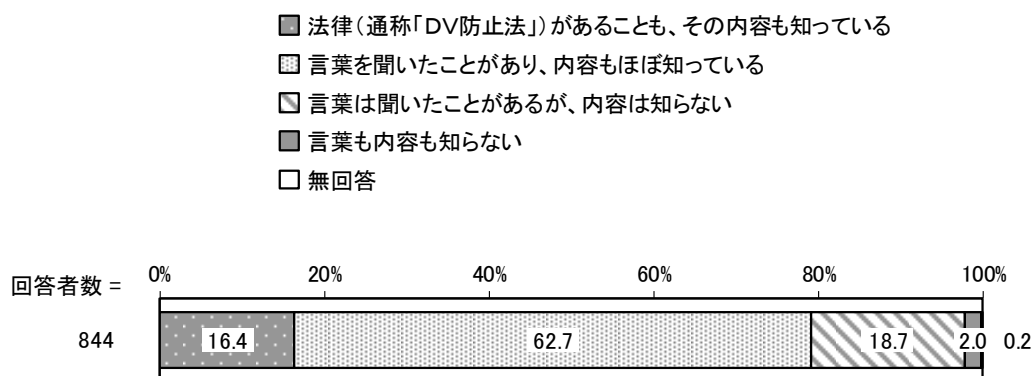
問2 あなたの学年は (数字を記入して下さい)

「高校1年生」の割合が37.0%、「高校2年生」の割合が29.4%、「高校3年生」の割合が32.1%となっている。



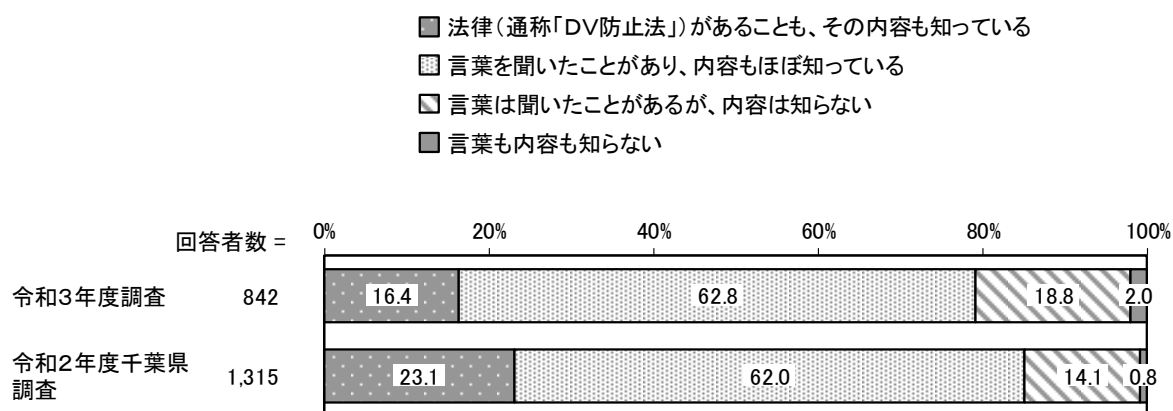
問3 あなたは今までに「DV (ドメスティック・バイオレンス)」という言葉を知っていましたか?

「言葉を聞いたことがあり、内容もほぼ知っている」の割合が62.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない」の割合が18.7%、「法律 (通称「DV防止法」) があることも、その内容も知っている」の割合が16.4%となっている。



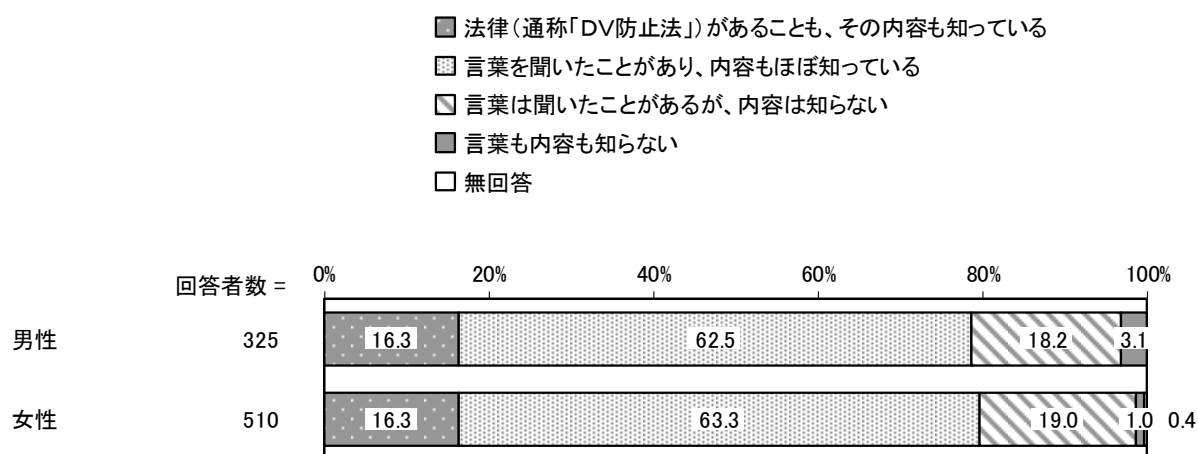
【令和2年度千葉県「デートDVに関する大学生意識等調査」との比較】

令和2年度千葉県「デートDVに関する大学生意識等調査」と比較すると、「法律（通称「DV防止法」）があることも、その内容も知っている」の割合が低くなっている。



【性別】

性別でみると、大きな差異はみられなかった。

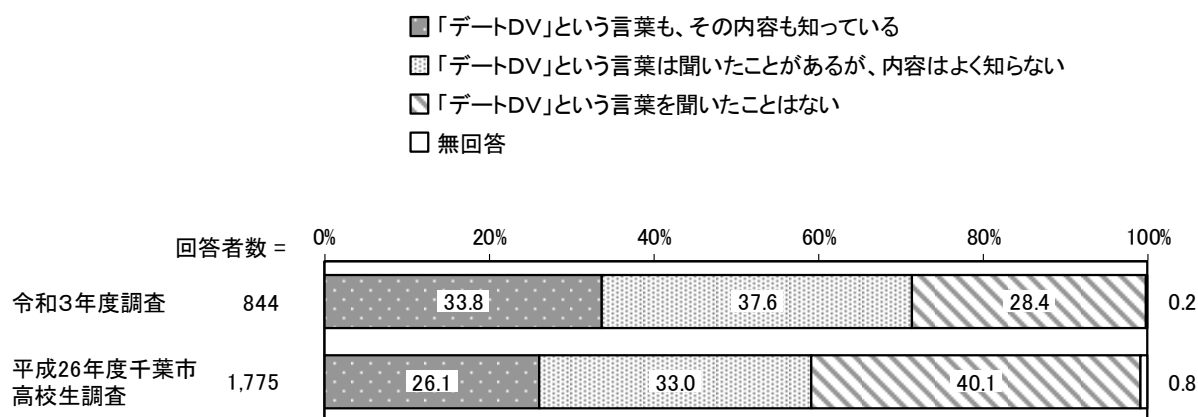


問4 あなたは今までに「デートDV」という言葉を知っていましたか？（○は1つ）

「デートDV」という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の割合が37.6%と最も高く、次いで「デートDV」という言葉も、その内容も知っている」の割合が33.8%、「デートDV」という言葉を聞いたことはない」の割合が28.4%となっている。

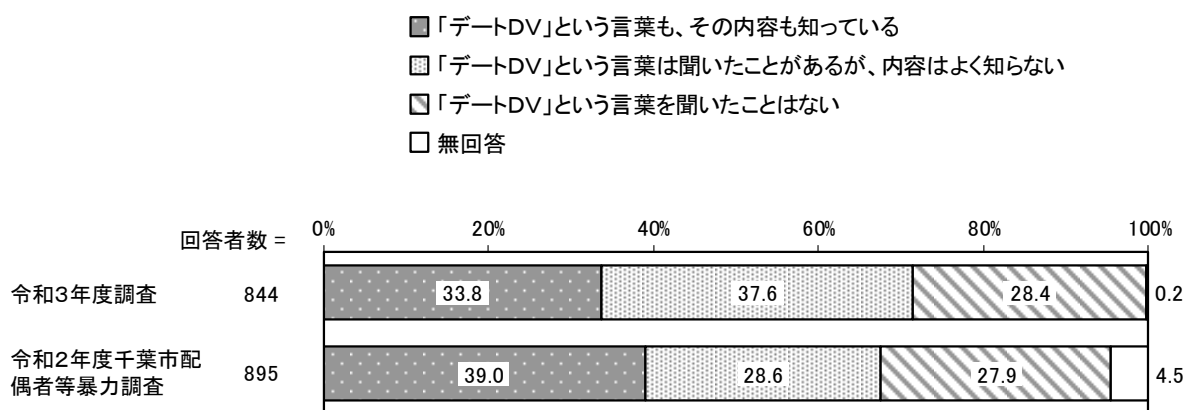
【平成26年度千葉市高校生調査との比較】

平成26年度千葉市高校生調査と比較すると、「デートDV」という言葉も、その内容も知っている」「デートDV」という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の割合が高くなっている。



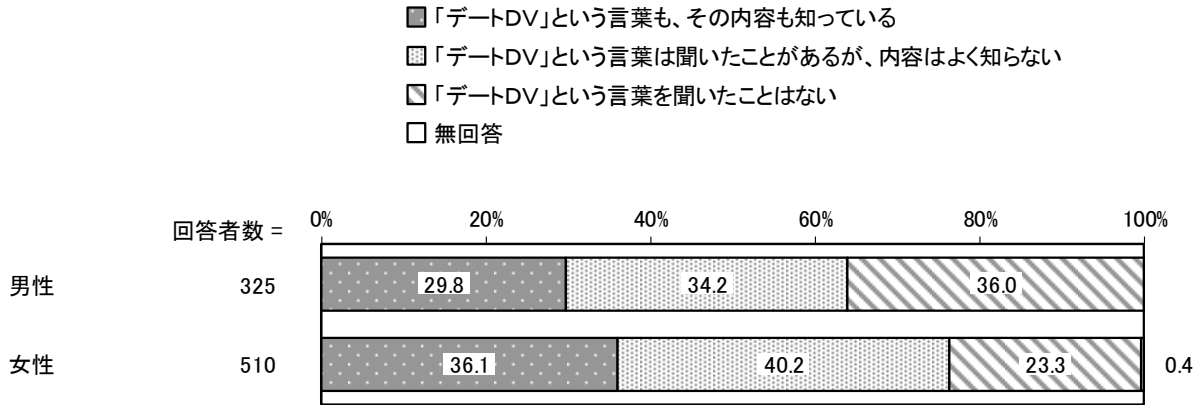
【令和2年度千葉市配偶者暴力調査との比較】

令和2年度千葉市配偶者暴力調査と比較すると、「デートDV」という言葉も、その内容も知っている」と「デートDV」という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の合計の割合が高くなっている。



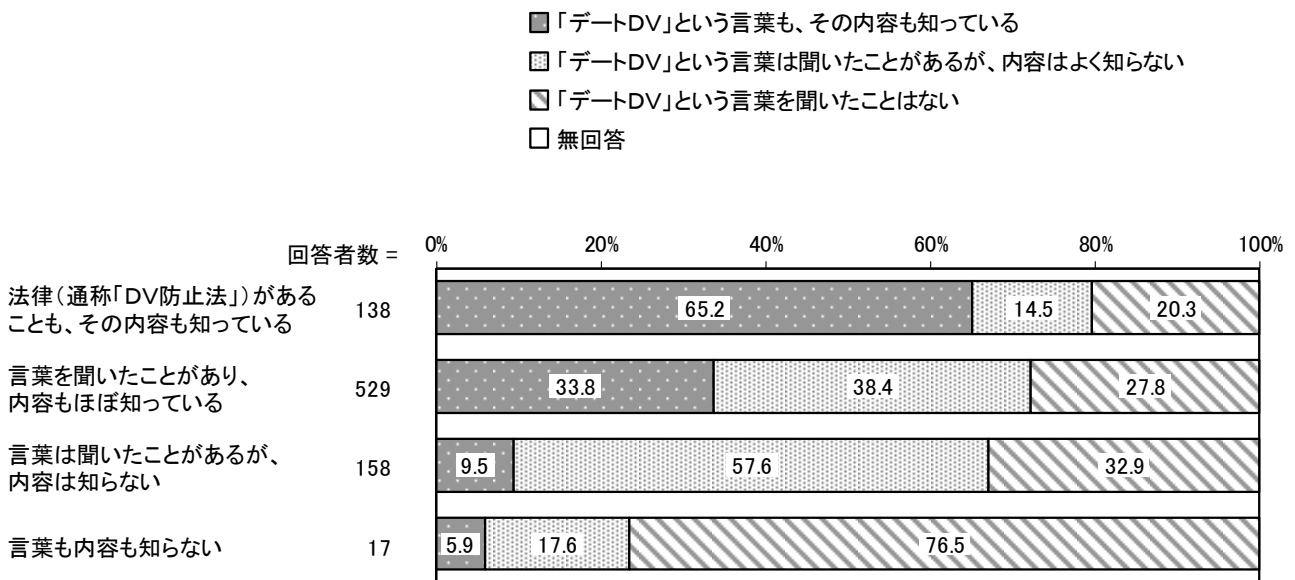
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「デートDV」という言葉も、その内容も知っている」「デートDV」という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」の割合が高くなっている。一方、女性に比べ、男性で「デートDV」という言葉を聞いたことはない」の割合が高くなっている。



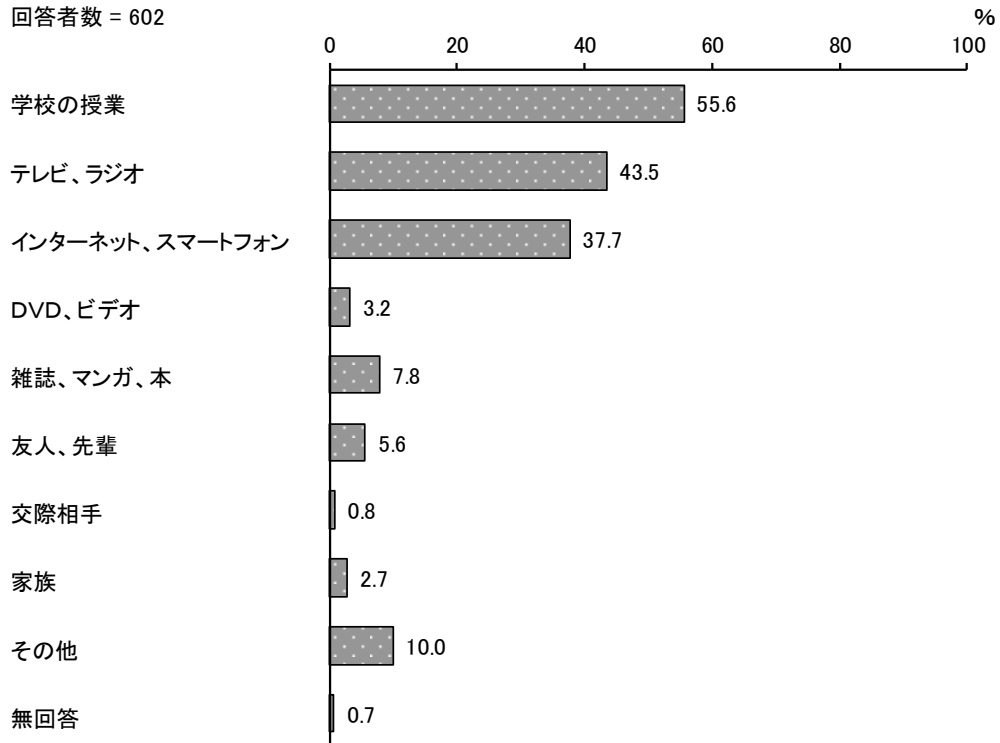
【「DV」の認知度別（問3における回答別）】

「DV」の認知度別でみると、問3で「法律（通称「DV防止法」）があることも、その内容も知っている」と回答した人では「デートDV」という言葉も、その内容も知っている」と回答した人の割合が最も高くなっている。一方、問3で「言葉も内容も知らない」と回答した人では「デートDV」という言葉を聞いたことはない」と回答した人の割合が最も高くなっている。



問5 「デートDV」という言葉をどこで見たり聞いたりしましたか？
(あてはまるすべての数字に○)

「学校の授業」の割合が55.6%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」の割合が43.5%、「インターネット、スマートフォン」の割合が37.7%となっている。

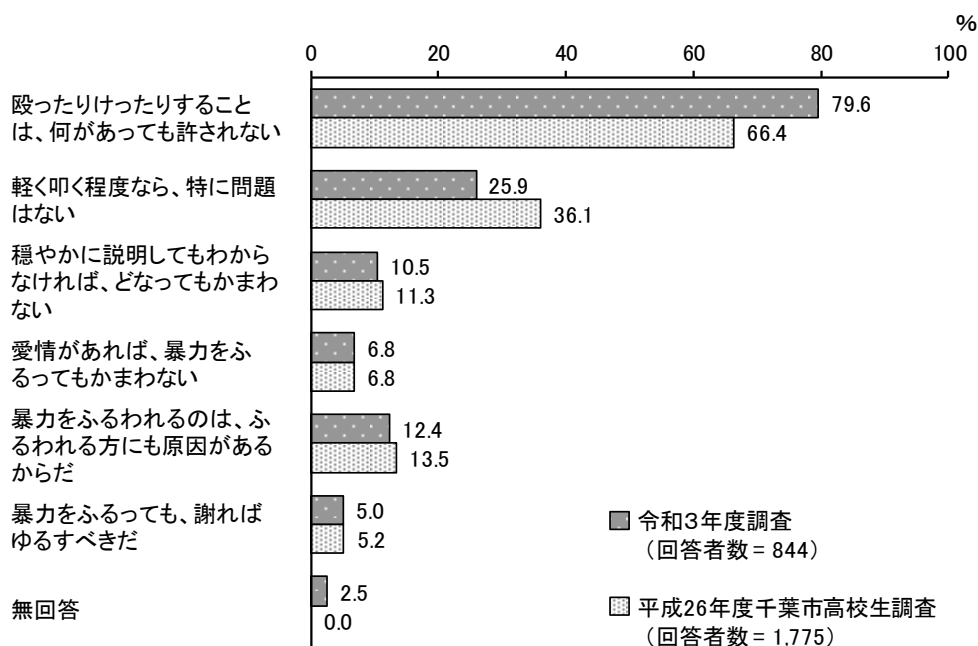


問6 暴力について、あなたの考えに合うものに○をしてください。
(あてはまるすべての数字に○)

「殴ったりけったりすることは、何があっても許されない」の割合が79.6%と最も高く、次いで「軽く叩く程度なら、特に問題はない」の割合が25.9%、「暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも原因があるからだ」の割合が12.4%となっている。

【平成26年度千葉県高校生調査との比較】

平成26年度千葉県高校生調査と比較すると、「殴ったりけったりすることは、何があっても許されない」の割合が高くなっている。一方、「軽く叩く程度なら、特に問題はない」の割合が低くなっている。



【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「殴ったりけったりすることは、何があっても許されない」の割合が高くなっている。一方、女性に比べ、男性で「軽く叩く程度なら、特に問題はない」「穏やかに説明してもわからなければ、どなってもかまわない」「愛情があれば、暴力をふるってもかまわない」「暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも原因があるからだ」の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数(件)	殴ったりけったりすることは、何があっても許されない	軽く叩く程度なら、特に問題はない	穏やかに説明してもわからなければ、どなってもかまわない	愛情があれば、暴力をふるってもかまわない	暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも原因があるからだ	謝ればゆるすべし、暴力をふるっても、ゆるすべきだ	無回答
男性	325	70.2	33.5	15.4	11.1	18.8	7.4	2.2
女性	510	85.7	21.0	7.1	3.5	8.0	2.9	2.7

【「デートDV」の認知度別（問4における回答別）】

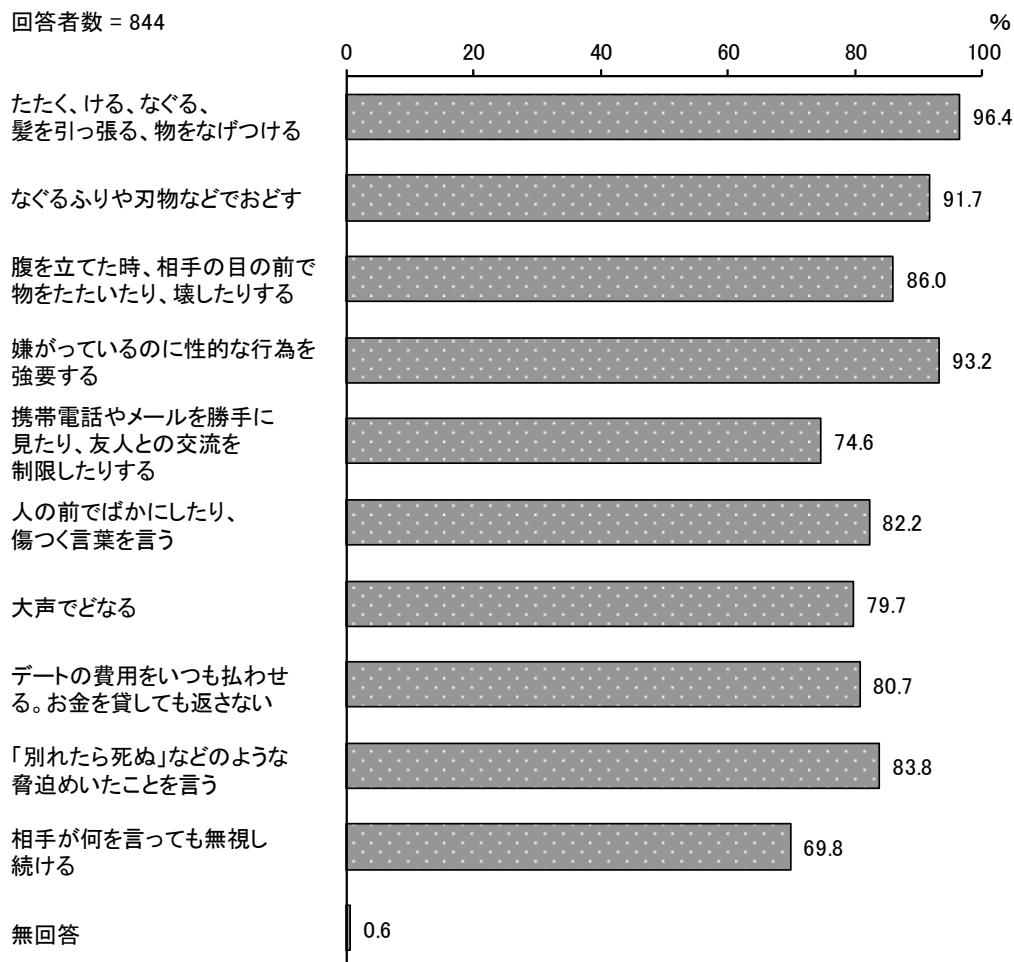
「デートDV」の認知度別でみると、どの認知度においても「殴ったりけったりすることは、何があっても許されない」の割合が最も高くなっているが、その他では、問4で「「デートDV」という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」又は、「「デートDV」という言葉を聞いたことはない」と回答した人のうち「軽く叩く程度なら、特に問題はない」と回答した人の割合が高くなっている。

単位：%

区分	回答者数 (件)	殴ったりけったりす ることは、何があっ ても許されない	軽く叩く程度なら、 特に問題はない	穏やかに説明しても わからなければ、ど なってもかまわない	愛情があれば、暴力 をふるってもかまわ ない	暴力をふるわれるの は、ふるわれる方に も原因があるからだ	暴力をふるっても、 謝ればゆるすべきだ	無回 答
「デートDV」という言葉も、その内容も 知っている	285	82.5	20.4	8.1	6.0	9.5	4.2	2.1
「デートDV」という言葉は聞いたこと があるが、内容はよく知らない	317	79.8	27.4	10.7	6.3	13.2	4.1	2.2
「デートDV」という言葉を聞いたこと はない	240	76.7	30.8	13.3	8.3	15.0	7.1	2.5

問7 あなたが「デートDV」にあたると思うことは次のどれですか。
 (あてはまるすべての数字に○)

「たたく、ける、なぐる、髪を引っ張る、物をなげつける」の割合が96.4%と最も高く、次いで「嫌がっているのに性的な行為を強要する」の割合が93.2%、「なぐるふりや刃物などでおどす」の割合が91.7%となっている。



【性別】

全ての項目において、女性に比べ、男性の割合が低く、特に「別れたら死ぬ」などのような脅迫めいたことを言う」の割合が低くなっている。

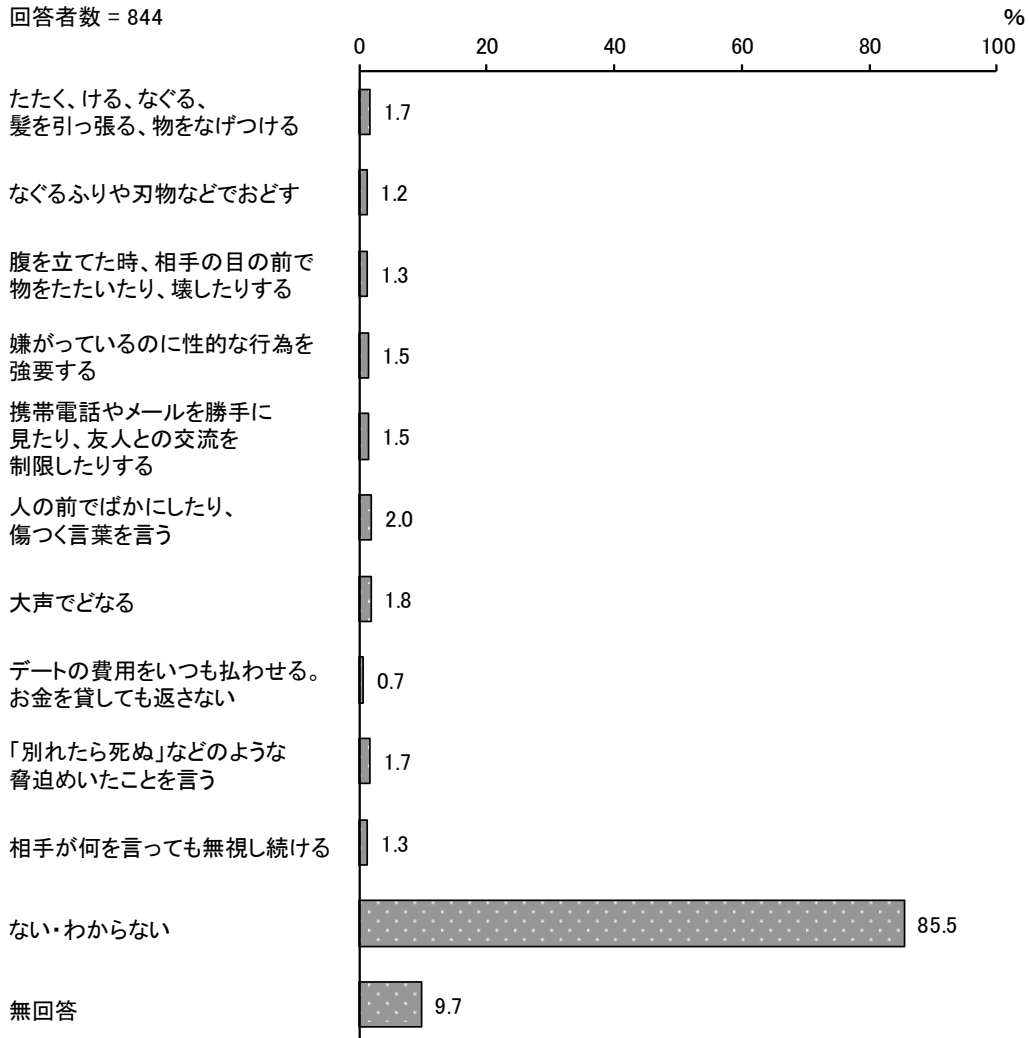
単位：%

区分	回答者数(件)	たたく、ける、なぐる、髪を引っ張る、物をなげつける	なぐるふりや刃物などでおどす	腹を立てた時、相手の目の前で物をたたいたり、壊したりする	嫌がっているのに性的な行為を強要する	友人との交流を制限したりする	携帯電話やメールを勝手に見たり、	人の前でばかにしたり、傷つく言葉を言う	大声でどなる	デートの費用をいつも払わせる。お金を貸しても返さない	「別れたら死ぬ」などのような脅迫めいたことを言う	相手が何を言っても無視し続ける	無回答
男性	325	95.7	88.0	82.8	89.8	74.5	80.9	76.3	77.2	78.5	67.1	0.3	
女性	510	97.1	93.9	87.8	95.3	74.7	82.9	81.6	82.5	87.1	71.0	0.8	

問8 あなたは彼（彼女）から以下の行為をされた（されたかもしれないと思う）ことがありますか。（あてはまるすべての数字に○）

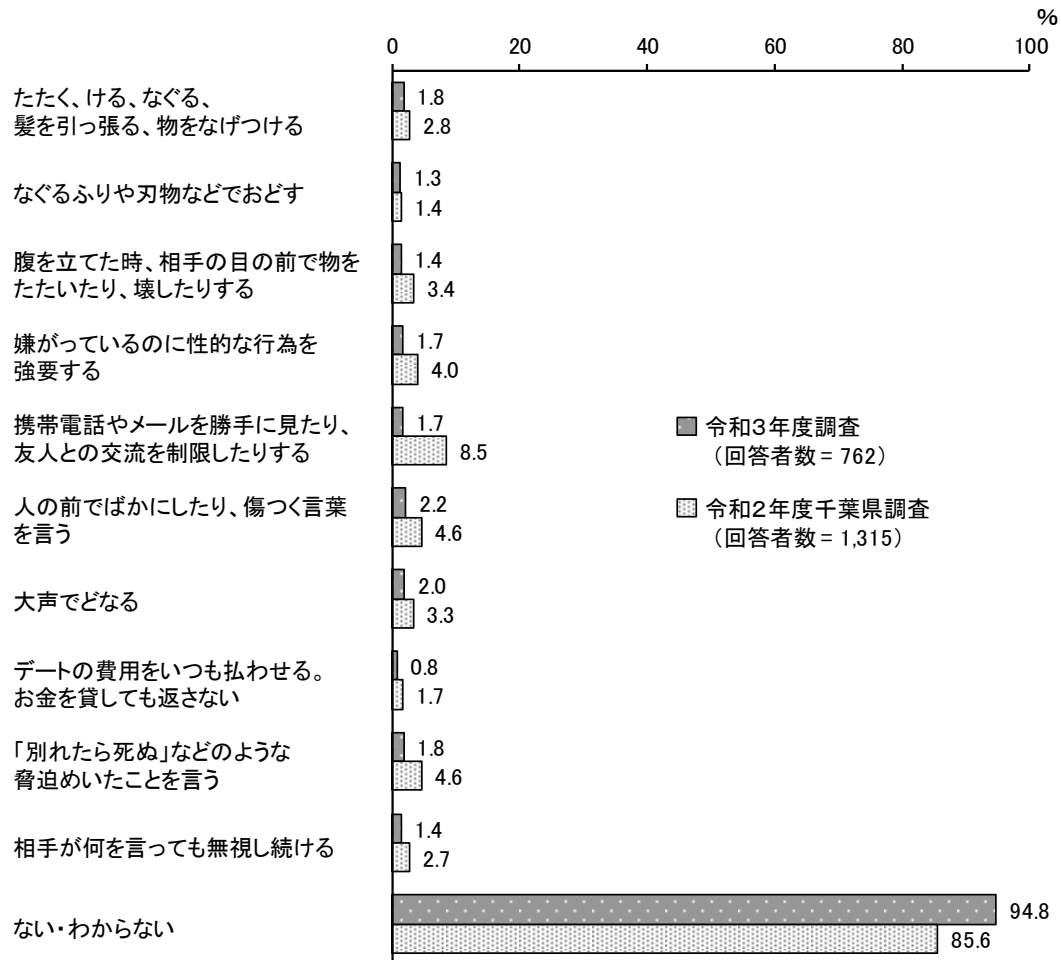
「ない・わからない」の割合が85.5%と最も高く、「人の前でばかにしたり、傷つく言葉を言う」「大声でどなる」「たたく、ける、なぐる、髪を引っ張る、物をなげつける」が続いた。

回答者数 = 844



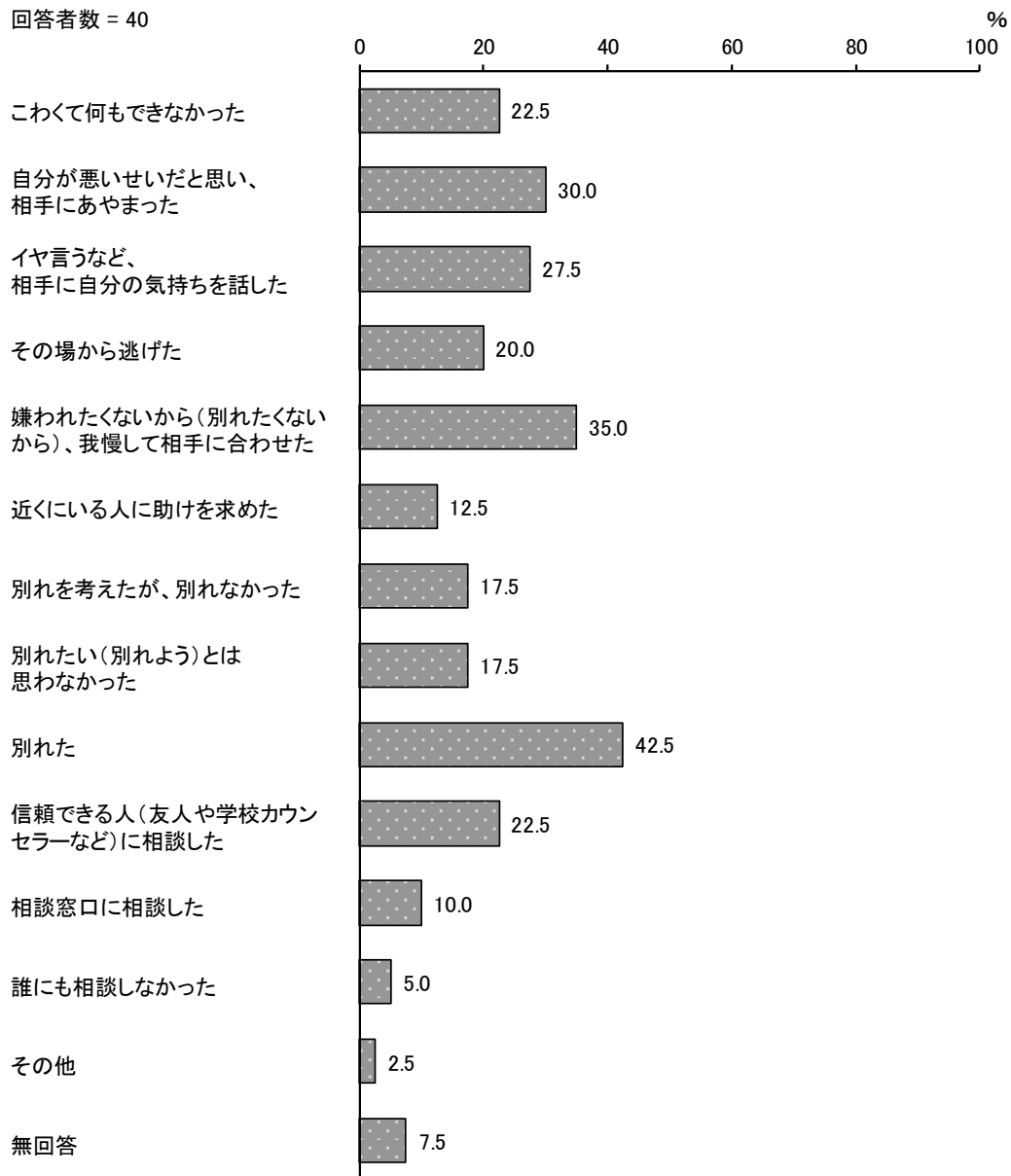
【令和2年度千葉県「デートDVに関する大学生意識等調査」との比較】

令和2年度千葉県「デートDVに関する大学生意識等調査」と比較すると、「ない・わからない」の割合が高くなっています。



問9 その時あなたはどう感じ、どう対応しましたか。(あてはまるすべての数字に○)

「別れた」の割合が42.5%と最も高く、次いで「嫌われたくないから(別れたくないから)、我慢して相手に合わせた」の割合が35.0%、「自分が悪いせいだと思い、相手にあやまった」の割合が30.0%となっている。



問9で、「12 誰にも相談しなかった」に○をした方が回答してください。

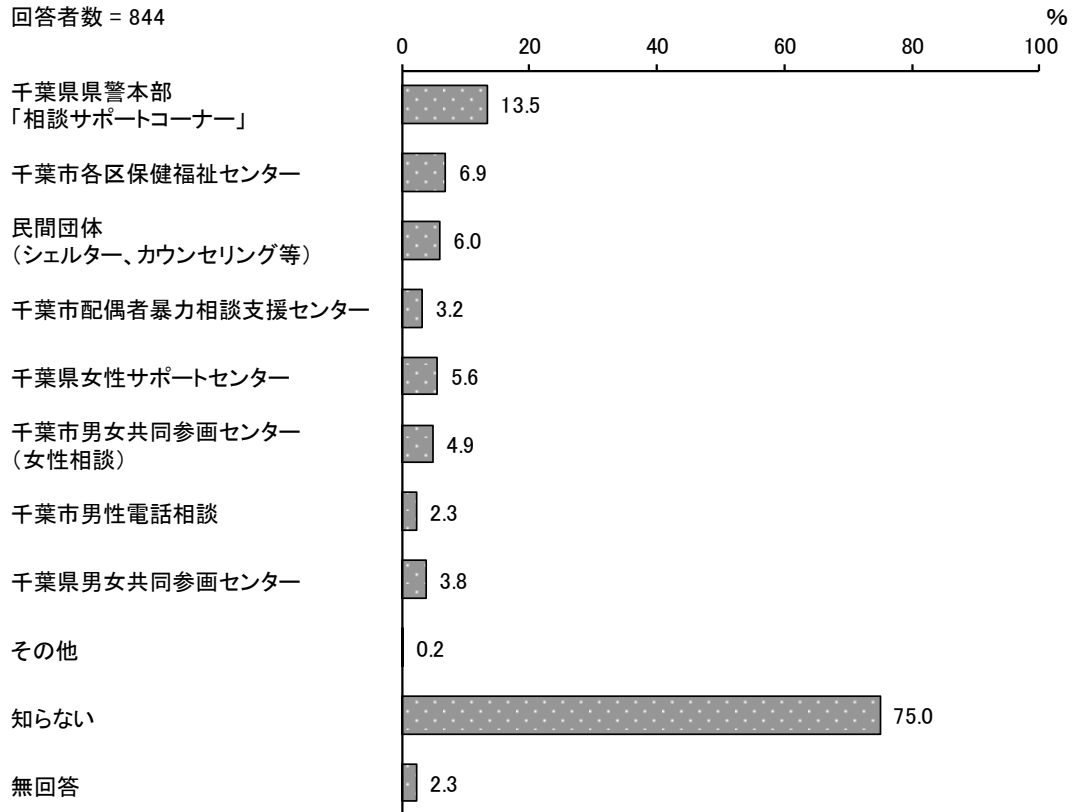
問9-1 それはなぜですか？(あてはまるすべての数字に○)

回答者数は2件で、「相談するほどのことでもないと思ったから」が2件、「自分にも悪いところがあると思ったから」が1件となっている。

問10 あなたは、DVに関する次の相談窓口を知っていますか。
(あてはまるすべての数字に○)

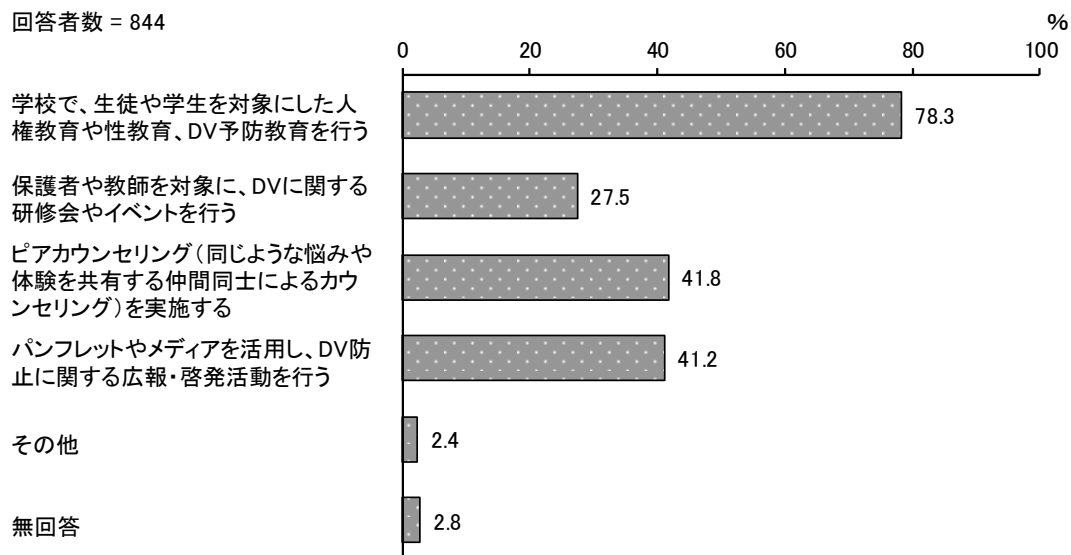
「知らない」の割合が75.0%と最も高く、次いで「千葉県警本部「相談サポートコーナー」」の割合が13.5%となっている。

回答者数 = 844



問11 あなたは「デートDV」をなくすため、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで○)

「学校で、生徒や学生を対象にした人権教育や性教育、DV予防教育を行う」の割合が78.3%と最も高く、次いで「ピアカウンセリング(同じような悩みや体験を共有する仲間同士によるカウンセリング)を実施する」の割合が41.8%、「パンフレットやメディアを活用し、DV防止に関する広報・啓発活動を行う」の割合が41.2%となっている。



Ⅲ 調査結果のまとめ・課題

1 「DV（ドメスティック・バイオレンス）」「デートDV」の認知度

「DV（ドメスティック・バイオレンス）の認知度」について、「法律（通称DV防止法）があることも、その内容も知っている」「言葉を聞いたことがあり、内容まではぼ知っている」と回答した人が79.1%であった。

「デートDVの認知度」については、「言葉もその内容も知っている」、「言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」と回答した人が71.4%で、平成26年度千葉県高校生調査（59.1%）と比較すると、12.3ポイント上昇した。性別では、女性の認知度（76.3%）の方が男性の認知度（64.0%）に比べ高かった。

また、令和2年度千葉県配偶者等暴力調査では、「言葉も、その内容も知っている」、「言葉があることは知っているが、内容はよく知らない」と回答した人が67.6%であったことから、若年層での「デートDV」の認知度は全世代の平均と比べ高いものと考えられる。

一方、「DVに関する相談窓口の認知度」については、「知らない」と回答した人が75.0%であったため、今後もデートDVについての啓発とともに、相談窓口についての周知も強化していく必要がある。

「デートDVを知ったきっかけ」については、「学校の授業」と回答した人が55.6%、次いで「テレビ、ラジオ」と回答した人が43.5%、「インターネット、スマートフォン」と回答した人が37.7%であった。認知度の向上のためには、若年層がアクセスしやすい方法での周知方法なども検討していく必要がある。

2 暴力についての認識

「暴力についての考え」については、「殴ったりけったりすることは、何があっても許されない」と回答した人が79.6%と最も高く、平成26年度千葉県高校生調査（66.4%）と比較すると、13.2ポイント増加している。性別で見ると、「軽く叩く程度なら、特に問題はない」（女性：21.0% 男性：33.5%）、「穏やかに説明してもわからなければ、どなってもかまわない」（女性：7.1% 男性：15.4%）、「愛情があれば、暴力をふるってもかまわない」（女性：3.5% 男性：11.1%）、「暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも原因があるからだ」（女性：8.0% 男性：18.8%）、「暴力をふるっても、謝ればゆるすべきだ」（女性：2.9% 男性：7.4%）と回答する人の割合は、いずれも女性に比べ男性の方が高くなっている。

「「デートDV」にあたると思うこと」については、「たたく、ける、なぐる、髪を引っ張る、物をなげつける」（96.4%）、「嫌がっているのに性的な行為を強要する」（93.2%）、「なぐるふりや刃物などでおどす」（91.7%）と回答した人の割合が9割以上と高くなっているが、一方で、「携帯電話やメールを勝手に見たり、友人との交流を制限したりする」と回答した人は74.6%、「相手が何を言っても無視し続ける」と回答した人は69.8%と、社会的な制限や精神的に傷つける行為については、身体的暴力、性的暴力に比べ暴力という認識が低い結果となっている。

暴力は何があっても許されないことや、身体的暴力、性的暴力だけでなく、精神的暴力、経済的暴力も「デートDV」にあたるという認識を高めるための啓発が必要である。

3 デートDVの被害状況、対応

「何らかの被害を受けた」と回答した人の割合は4.8%となっている。また、被害を受けた時の対応については、「別れた」と回答した人が42.5%と最も高く、次いで「嫌われたくないから（別れたくないから）、我慢して相手に合わせた」と回答した人が35.0%、「自分が悪いせいだと思ひ、相手にあやまった」と回答した人が30.0%であった。

被害にあったことが「ない・わからない」と回答した人の割合（94.8%）は、令和2年度千葉県調査（85.6%）よりも高い結果となっていることから、年齢を重ねるにつれて、交友関係の広がりや、交際経験の増加により被害にあう可能性が高くなることが考えられるため、「デートDV」に関する教育を早期から実施していく必要がある。

また、「信頼できる人（友人や学校カウンセラーなど）に相談した」と回答した人が22.5%である一方、「相談窓口で相談した」と回答した人は10.0%であり、相談窓口の認知度が低いことや、相談することに対する心理的な抵抗感が影響していると考えられる。若年層でも安心して相談できる窓口であることが伝わるような周知方法を検討していく必要がある。

4 「デートDV」をなくすために必要な取り組み

「「デートDV」をなくすために必要な取り組み」については、「学校で、生徒や学生を対象にした人権教育や性教育、DV予防教育を行う」と回答した人の割合が78.3%と最も高く、次いで「ピアカウンセリング（同じような悩みや体験を共有する仲間同士によるカウンセリング）を実施する」と回答した人の割合が41.8%、「パンフレットやメディアを活用し、DV防止に関する広報・啓発活動を行う」と回答した人の割合が41.2%、となっている。学校における予防教育の必要性が高いとの回答結果であり、今後も継続的に実施していく必要があると考えられる。

IV 自由意見（抜粋）

- ・ 何かあったらすぐに相談し、1人で悩まないようにしたい。
- ・ 個人間の問題は外から見ると分からないことが多いし、本人自身も問題視していないこともあるので、知ることが大切だと思います。もっといろいろな情報を知れる場(SNSなど)を作ったり、悩みを自由に書き込める場を作ることで溜め込むことが少しでもなくなると思います。
- ・ ネットの動画で物を壊す、発狂する人などがアップされているとまるで面白いことをしている、許されているかのように見えてしまう。ネットの世界で見逃されていること暴力はいけないことと規制していくことはできないのだろうか
- ・ すべての人が救われるように、社会意識を高める必要がある。
- ・ 「デートDV」という言葉に違和感を感じます。今の私には該当するような経験はありませんが、この単語を聞いた時、私は”デート中の”事件だと思っていたのですが、パンフレットを読んで、そうでないことを知り驚きました。呼び名を付けるなどしてよりわかりやすいワードにするべきだと感じました。
- ・ DVを無くすためにも学校側が積極的に性教育を行うべきだと思います
- ・ 学校や家庭で性教育をもっと真剣にするべきだと思う 親も学校も、性的なことを話すのが恥ずかしいことだという雰囲気を出してるのが良くない 知識があるだけで変わると思う
- ・ DVを受けた人は逃げる選択がありますが、DVをしてしまう方はどうしたら良いのでしょうか？どこかでカウンセリング等を受けられたり、事前にDVはあってはならない、もしくはコントロールできるような教育を受けられる環境ができれば良いと思います。
- ・ 被害者はもちろんだが、加害者も精神的な問題を抱えていることが多いと思うので、加害者を更生させるためのカウンセリングなどを行うべきなのではないかと思う。
- ・ DVをする人を増やさないためには学生などの若いときから教育をするべきだと思う。それでも、根本的に解決するのは難しいと思うのでデートDVを受けている人を助ける道を増やすことが大切だと思う。また、助けてもらえる場所があることをより多くの人が認知する必要もあると思う。
- ・ 解決する方法より、身を隠すことや保護する制度を優先して整えるべきだと思う。
- ・ 何事も知ることが大切だと思います。興味を持たないと調べない人がほとんどだと思うので、このようなアンケート実施を通して、少しでも興味を持つ人が増えるといいと思います。
- ・ 普段の生活の中でこういったことを考えることはないので改めて考える機会となりました。今自分にはそういったことはないけれど今後のもしも周りの人にそういうことがあったときに助けられるようにしたいと思いました。
- ・ このアンケートを機にデートDVの認知度が上がるといいなと思いました。自分がされてもデートDVだと知らなければ対処できないかも知れなかったので、今回、知るいい機会になりました。

V 調査票・調査依頼文

千葉市立高校の生徒の皆様

千葉市子ども未来局子ども未来部子ども家庭支援課

デートDVについての意識・実態アンケート調査ご協力をお願い

千葉市では、「DVの根絶」を基本理念とし、一人ひとりがお互いを尊重し、信頼しあえる関係のもと、すべての市民が、暴力の無い安心した生活を送れる社会を目指し、「千葉市DV防止・被害者支援基本計画（平成28年度～令和3年度）」を策定し、DVの防止、被害者の保護と心身のケア、自立支援などの総合的なDV対策を行っています。

近年、高校生や大学生等の若い世代においても、交際相手からの暴力被害（いわゆる「デートDV」）が起きています。


このたび、来年度の計画改正に向け、さらなるデートDVの予防・啓発に向けた取組を検討するに当たり、市立高校の1～3年生を対象に、デートDVに対する意識・実態を把握するためのアンケート調査を実施することといたしました。

より良い取組を検討していくためにも、回答の一つ一つが参考となるものであり、できるだけの方の意見をお聞きしたいと考えていますので、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

- アンケート調査への協力は、自由です。ご協力されなくても不利益を受けることはありません。
- お名前を書く必要はありません。統計的に処理しますので、ひとりひとりの回答内容が、学校や関係者等に知られることはなく、プライバシーは守られます。
- ご回答いただいた内容は、千葉市および委託業者（株式会社名豊）のみが厳重に情報を管理し、漏えい・紛失等ないよう適切に取り扱います。また、この調査の目的以外に使用することはありません。
- この調査は、そのデータを合算し、統計的処理を行った全体結果を、千葉市が報告書等で表します。
- 他の回答者と相談せずに自分で考え、ご回答ください。答えられないことや答えたくない質問は、回答しないで結構です。

<回答方法>
右記の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスしてください。
<https://questant.jp/q/OKUMVRF8>

○ この「二次元コード」は、個人を特定するものではありません。
○ 回答には約15分程度かかります。画面を閉じてしまった場合は、最初からの回答となります。
○ インターネットによる回答は**12月3日17時まで**です。それ以降はアクセスできませんので、ご注意ください



※インターネットでの回答が難しい場合には、回答用紙での回答が可能です。
回答用紙をご希望の場合には、担任の先生にお申し出ください。

問い合わせ先
千葉市子ども未来局子ども未来部子ども家庭支援課 岩崎 鈴木
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
電話：043-245-5608（受付時間 平日9：00～17：00）
Mail：kateishien_CFO@city.chiba.lg.jp

千葉市立高校の保護者の皆様

千葉市子ども未来局子ども未来部子ども家庭支援課

デートDVについての意識・実態アンケート調査ご協力をお願い

千葉市では、「DVの根絶」を基本理念とし、一人ひとりがお互いを尊重し、信頼しあえる関係のもと、すべての市民が、暴力の無い安心した生活を送れる社会を目指し、「千葉市DV防止・被害者支援基本計画（平成28年度～令和3年度）」を策定し、DVの防止、被害者の保護と心身のケア、自立支援などの総合的なDV対策を行っています。

近年、高校生や大学生等の若い世代においても、交際相手からの暴力被害（いわゆる「デートDV」）が起きています。


このたび、来年度の計画改正に向け、さらなるデートDVの予防・啓発に向けた取組を検討するに当たり、市立高校の1～3年生を対象に、デートDVに対する意識・実態を把握するためのアンケート調査を実施することといたしました。

より良い取組を検討していくためにも、回答の一つ一つが参考となるものであり、できるだけの方の意見をお聞きしたいと考えていますので、アンケート調査にご協力をお願いいたします。

- アンケート調査への協力は、自由です。ご協力されなくても不利益を受けることはありません。
- お子さんのお名前を書く必要はありません。統計的に処理しますので、ひとりひとりの回答内容が、学校や関係者等に知られることはなく、プライバシーは守られます。
- ご回答いただいた内容は、千葉市および委託業者（株式会社名豊）のみが厳重に情報を管理し、漏えい・紛失等ないよう適切に取り扱います。また、この調査の目的以外に使用することはありません。
- この調査は、そのデータを合算し、統計的処理を行った全体結果を、千葉市が報告書等で表します。

<回答方法>
右記の二次元コードを読み込むか、下記のURLにアクセスしてください。
<https://questant.jp/q/OKUMVRF8>

○ この「二次元コード」は、個人を特定するものではありません。
○ 回答には約15分程度かかります。画面を閉じてしまった場合は、最初からの回答となります。
○ インターネットによる回答は**12月3日17時まで**です。それ以降はアクセスできませんので、ご注意ください



※インターネットでの回答が難しい場合には、回答用紙での回答が可能です。
回答用紙をご希望の場合には、担任の先生にお申し出ください。

問い合わせ先
千葉市子ども未来局子ども未来部子ども家庭支援課 岩崎 鈴木
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
電話：043-245-5608（受付時間 平日9：00～17：00）
Mail：kateishien_CFO@city.chiba.lg.jp

デートDVについての意識・実態アンケート

◆◆アンケート調査ご協力をお願い◆◆

近年、高校生や大学生等の若い世代においても、交際相手からの暴力被害が起きています。暴力は、重大な人権侵害となる行為です。暴力の予防・啓発に向けた取組を進めるための資料とするため、アンケート調査にご協力をお願いします。

- ご協力いただけるかどうかは、自由意思によります。ご協力いただけなくても不利益を受けるとは全くありません。
- お名前を書く必要はありません。統計的に処理しますので、ひとりひとりの回答内容が、学校や関係者等に知られることはなく、プライバシーは守られます。
- ご記入いただいた回答は、この調査の目的以外に使用することはありません。
- この調査は、そのデータを合算し、統計的処理を行った全体結果を、千葉市が報告書などで公表します。

◆◆ご記入にあたってお願い◆◆

- 他の回答者と相談せずに自分で考え、あてはまる数字に○印をつけてください。
- 答えられないことや答えたくない質問は、記入しなくて結構です。

問1 あなたの性別は次のうちどれですか。(○は1つ)

- 1 男性 2 女性 3 その他

問2 あなたの学年は・・・ (数字を記入して下さい)

- 高校生 年生

問3 あなたは今までに「DV (ドメスティック・バイオレンス)」という言葉を知っていましたか? (○は1つ)

- 1 法律(通称「DV防止法」)があることも、その内容も知っている
 2 言葉を知ったことがあり、内容はほぼ知っている
 3 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らない
 4 言葉も内容も知らない

問4 あなたは今までに「デートDV」という言葉を知っていましたか? (○は1つ)

- 1 「デートDV」という言葉も、その内容も知っている → 問5へ
 2 「デートDV」という言葉は聞いたことがあるが、内容はよく知らない
 3 「デートDV」という言葉は聞いたことはない → 問6へ

問5 「デートDV」という言葉をどこで見たり聞いたりしましたか? (あてはまるすべての数字に○)

- 1 学校の授業 2 テレビ、ラジオ 3 インターネット、スマートフォン
 4 DVD、ビデオ 5 雑誌、マンガ、本 6 友人、先輩
 7 交際相手 8 家族 9 その他 ()

問6 暴力について、あなたの考えに合うものに○をしてください。(あてはまるすべての数字に○)

- 1 感ったりけたりすることは、何があっても許されない。
 2 軽く叩く程度なら、特に問題はない。
 3 想やかに説明してもわからなければ、どなってもかまわない。
 4 愛情があれば、暴力をふるってもかまわない。
 5 暴力をふるわれるのは、ふるわれる方にも原因があるからだ。
 6 暴力をふるっても、謝ればゆるすべきだ。

問7 あなたが「デートDV」にあたると思うことは次のどれですか。(あてはまるすべての数字に○)

- 1 たたく、ける、なぐる、髪を引っ張る、物をなげつける。
- 2 なぐるふりや刃物などでおどす。
- 3 腹を立てた時、相手の目の前で物をたたいたり、蹴したりする。
- 4 嫌がっているのに性的な行為を強要する。
- 5 携帯電話やメールを勝手に見たり、友人との交流を制限したりする。
- 6 人の前でばかにしたり、傷つく言葉を言う。
- 7 大声でどなる。
- 8 デートの費用をいつも私わせる。お金を貸しても返さない。
- 9 「別れたら死ぬ」などのような脅迫めいたことを言う。
- 10 相手が何を言っても無視し続ける。

問8 あなたは彼(彼女)から以下の行為をされた(されたかもしれないと思う)ことがありますか。(あてはまるすべての数字に○)

- 1 たたく、ける、なぐる、髪を引っ張る、物をなげつける。
- 2 なぐるふりや刃物などでおどす。
- 3 腹を立てた時、相手の目の前で物をたたいたり、蹴したりする。
- 4 嫌がっているのに性的な行為を強要する。
- 5 携帯電話やメールを勝手に見たり、友人との交流を制限したりする。
- 6 人の前でばかにしたり、傷つく言葉を言う。
- 7 大声でどなる。
- 8 デートの費用をいつも私わせる。お金を貸しても返さない。
- 9 「別れたら死ぬ」などのような脅迫めいたことを言う。
- 10 相手が何を言っても無視し続ける。
- 11 ない・わからない 問10へ

問9 その時あなたはどう感じ、どう対応しましたか。(あてはまるすべての数字に○)

- 1 こわくて何もできなかった。
- 2 自分が悪いせいだと思い、相手にあやまった。
- 3 イヤ言うなど、相手に自分の気持ちを話した。
- 4 その場から逃げた。
- 5 嫌われたくないから(別れたくないから)、我慢して相手に合わせた。
- 6 近くにいる人に助けを求めた。
- 7 別れを考えたが、別れなかった。
- 8 別れたい(別れよう)とは思わなかった。
- 9 別れた。
- 10 信頼できる人(友人や学校カウンセラーなど)に相談した。
- 11 相談窓口相談した。
- 12 誰にも相談しなかった。 問9-1へ
- 13 その他()

問9-1 問9で、「12 誰にも相談しなかった」に○をした方が回答してください。それはなぜですか？(あてはまるすべての数字に○)

- 1 相談するほどのことでもないと思ったから
- 2 相談しても無駄だと思ったから
- 3 どこ(誰)に相談したらよいかわからなかったから
- 4 自分にも悪いところがあると思ったから
- 5 別れたいと思ったから
- 6 相手のことが好きだったから
- 7 他人に知られるのが嫌だったから
- 8 相談したことにより、もっとひどい暴力をうけると思ったから
- 9 誰にも言うなと脅されたから
- 10 その他()

問10 全員の方にお聞きします。あなたは、DVに関する次の相談窓口を知っていますか。(あてはまるすべての数字に○)

- 1 千葉県警本部「相談サポートコーナー」
- 2 千葉市各区保健福祉センター
- 3 民間団体(シェルター、カウンセリング等)
- 4 千葉市配偶者暴力相談支援センター
- 5 千葉県女性サポートセンター
- 6 千葉市男女共同参画センター(女性相談)
- 7 千葉市男性電話相談
- 8 千葉県男女共同参画センター
- 9 その他()
- 10 知らない

問11 あなたは「デートDV」をなくするため、どのような取り組みが必要だと思いますか。(3つまで○)

- 1 学校で、生徒や学生を対象にした人権教育や性教育、DV予防教育を行う。
- 2 保護者や教師を対象に、DVに関する研修会やイベントを行う。
- 3 ピアカウンセリング(同じような悩みや体験を共有する仲間同士によるカウンセリング)を実施する。
- 4 パンフレットやメディアを活用し、DV防止に関する広報・啓発活動を行う。
- 5 その他()

自由記載

このアンケートは、男女共同参画社会の実現を目指し、豊かな市民生活を実現する施策を推進するた
めに実施しました。アンケートによって、いやなこと、悲しいこと、辛いことを思い出し、いやな思い
をされた方もいらっしゃると思います。それらを含め、ご感想やご意見がありましたら、自由にお
書きください。

ご協力ありがとうございました。
もし、あなたやあなたの周りの人が交際相手との関係に悩んでいたら、一人で悩まずに両親や学校の
先生、以下の相談機関に相談してください。

また、身の危険を感じたら、速わす110番をしてください。

- 千葉市配偶者暴力相談支援センター
<https://www.city.chiba.jp/kodomonirai/kodomonirai/kateishien/haibou.html>
043-245-5110 (平日9～16時)
- 千葉県女性サポートセンター
<https://www.pref.chiba.lg.jp/jsc/>
043-206-8002 (365日、24時間)
- 千葉市男女共同参画センター
<https://www.chp.or.jp/danjo/consultation/>
女性のための相談 043-209-8771 (火～金10～20時、土・日10～16時 予約制)
男性のための相談 043-209-8773 (毎週金曜日18時30分～20時30分)
- DV相談プラス
<https://soudanplus.jp/>
0120-279-889 (365日、24時間)
- NPO法人千葉県暴力被害支援センターちさと
<http://chissat.sakura.ne.jp/>
043-251-8500 (月～金9～21時、土9～17時、緊急は24時間対応)